

北陸の陸水環境と歴史・人の営み

2019年 **9** 月 **29** 日(日) **13:00-17:00** (受付開始12時~)

石川県文教会館 ホール

プログラム

- | | | |
|-------------|--|--------------------------|
| 13:00-13:05 | 開会挨拶 | 長尾誠也(金沢大学・日本陸水学会金沢大会 会長) |
| 13:05-13:35 | 「北陸の降雪・積雪・融雪水」 | 竹井 巖(北陸大学 元教授) |
| 13:35-14:05 | 「兼六園と辰巳用水
—加賀藩の水利と現在—」 | 本康宏史(金沢星稜大学 教授) |
| 14:05-14:35 | 「河北潟レッドデータブックに綴られた
河北潟干拓50年の変遷」 | 高橋 久(河北潟湖沼研究所 理事長) |
| 14:35-14:55 | 休憩 | |
| 14:55-15:25 | 「水生昆虫(コウチュウ目, カメムシ目)
からみた石川県の陸水環境」 | 渡部晃平(石川県ふれあい昆虫館 学芸員) |
| 15:25-15:55 | 「加賀平野の潟湖と水生植物」 | 永坂正夫(金沢星稜大学 教授) |
| 15:55-16:25 | 「北潟湖堆積物にみる環境変動と災害
の記録」 | 長谷部徳子(金沢大学 教授) |
| 16:25-16:55 | パネルディスカッション「北陸の陸水環境の現状認識と今後の研究・活動への展望」 | |
| 16:55-17:00 | 閉会挨拶 | 中野伸一(京都大学・日本陸水学会 会長) |

**参加無料
申込不要**

写真提供:河北潟湖沼研究所

北陸は年間を通じて豊かな降水に恵まれ、とくに冬の降雪は気温との絶妙なバランスの下、積雪・融解が北陸の里山里海をタイムリーに潤します。一方、近年の温暖化や人間活動による様々な環境への影響から逃れられるものではなく、陸水環境への影響が懸念されています。この講演会では、恵まれた北陸の陸水環境を歴史的にどのように利用してきたか、環境変動の影響がどのように現れているか等に関して、地元の行政関係者・研究者からの講演を企画しました。

講演に続くパネルディスカッションでは、北陸の陸水環境の現状について共通の認識の醸成をめざし、研究・活動への展望について議論します。

講演要旨



「北陸の降雪・積雪・融雪水」

北陸地域は、温帯に属しながらも世界有数の豪雪地域として知られています。これは、冬期間の北西季節風、冬期でも15℃の対馬暖流、脊梁山脈の一部をなす白山・立山の存在という地理的条件によってもたらされます。この山岳地に降り積もった雪がゆっくりと融けて地表水・地下水となり、北陸には豊かな水環境が形成されます。

竹井 巖（北陸大学）



「兼六園と辰巳用水—加賀藩の水利と現在—」

石川県の県都金沢は、「加賀百万石」の城下町として、今日も伝統的な文化をよく残す歴史都市として知られます。とくに、金沢城を中心とした旧城下は犀川・浅野川、そして街中を流れる用水が豊かな景観を形成しています。報告では、兼六園の「水泉」を支える辰巳用水の役割をはじめ、加賀藩の水利と現在について紹介します。

本康 宏史（金沢星稜大学）



「河北潟レッドデータブックに綴られた河北潟干拓50年の変遷」

NPO法人河北潟湖沼研究所は県内の野生生物の専門家やナチュラリストなどの協力を得て、2013年に河北潟レッドデータブックを刊行しました。河北潟干拓事業から50年間の河北潟の自然と野生生物の変遷をとりまとめ、河北潟で絶滅の恐れのある野生生物「河北潟レッドリスト」を掲載した本書の内容について紹介します。

高橋 久（河北潟湖沼研究所）



「水生昆虫(コウチュウ目, カメムシ目)からみた石川県の陸水環境」

石川県には、世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」を中心とした豊かな陸水環境が残されているため、多くの絶滅危惧種を含む水生生物が残存しています。ここでは水生昆虫(コウチュウ目, カメムシ目)にスポットを当て、石川県の陸水環境について概観するとともに、その生息および分布状況について紹介します。

渡部 晃平（石川県ふれあい昆虫館）



「加賀平野の潟湖と水生植物」

加賀平野には河北潟、今江潟、木場潟、柴山潟など、かつては豊かな水生植物群落を保持する潟湖がありました。これらの潟湖は干拓事業や土地改良に伴って元の姿から大きく改変され、これに伴い水生植物相も大きく変わっています。これまでの潟の水生植物相の変遷を紹介しつつ、これからの潟の保全を考えます。

永坂 正夫（金沢星稜大学）



「北潟湖堆積物にみる環境変動と災害の記録」

石川・福井の県境に位置する北潟湖の堆積物から過去約1500年間の環境記録を読み取りました。江戸時代には牡蠣の養殖が行われていたことが知られていますが、その時期の堆積物には牡蠣殻が多く含まれていました。他にも当時の人為的な地形改変によるものと思われる水質変化や、火山活動、津波や高波などの痕跡について紹介します。

長谷部 徳子（金沢大学）



会場へのアクセス

石川県文教会館（石川県金沢市尾山町10-5）

○バス

金沢駅より香林坊方面行のバスをご利用ください。「南町・尾山神社」下車、徒歩2分。

○自家用車

駐車スペースがございません。周辺の有料駐車場をご利用ください。

<http://www.bunkyo.or.jp/basic/access.html>